

議会のうごき

1月・2月・3月

- 1月5日 1月期 月イチ●オンラインミーティング、令和5年湯沢市消防出初式、議会運営委員会
- 1月13日 議会運営委員会
- 1月17日 1月臨時会、全員協議会、予算決算常任委員会(全体会)、広報広聴委員会
- 1月25日 令和4年度湯沢市芸術文化賞表彰式並びに祝賀交流会
- 1月30日 令和4年度湯沢市体育協会スポーツ賞授与式並びに受賞祝賀会
- 2月1日 全国高速自動車道市議会協議会 第49回定期総会(東京都)
- 2月2日 県関係国会議員面会(東京都)
- 2月3日 2月期 月イチ●オンラインミーティング
- 2月6日 令和4年度第2回秋田県市議会議長会定例会(秋田市)
- 2月9日 全員協議会、産業建設常任委員会委員協議会
- 2月10日 第6回議会改革推進研修会
- 2月15日 議会運営委員会
- 2月17日 令和5年2月秋田県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 2月22日 本会議(議案上程、提案理由説明)、産業建設常任委員会
- 2月27日 本会議(質疑・付託・採決)、予算決算常任委員会(全体会)、議会運営委員会、広報広聴委員会
- 2月28日 3月期 月イチ●オンラインミーティング
- 3月1日 本会議(代表質問)
- 3月2日 本会議(一般質問)
- 3月3日 本会議(一般質問)、産業建設常任委員会勉強会
- 3月4日 議会改革推進に係る協議(東京都)
- 3月5日 首都圏ふるさと湯沢会総会及び懇親会(東京都)
- 3月7日 予算決算常任委員会当初予算総括質疑
- 3月8日 予算決算常任委員会当初予算審査(各分科会)
- 3月9日 総務財政・教育民生・産業建設常任委員会、総務財政常任委員会所管事務調査
- 3月14日 議会運営委員会、予算決算常任委員会(全体会)、全員協議会、広報広聴委員会研修会
- 3月16日 議会運営委員会
- 3月18日 本会議(討論、採決)、予算決算(全体会)・総務財政常任委員会、全員協議会
- 3月22日 湯和会・公明要望・陳情等(~23日、東京都)
- 3月23日 湯沢政策研究会研修(~24日、東京都)、宮原晃議員研修(~24日、東京都)
- 3月27日 総務財政常任委員会、湯沢雄勝広域市町村圏組合議会全員協議会・定例会
- 3月28日 産業建設・教育民生常任委員会委員協議会
- 3月30日 県南地域市議会議長懇談会
- 3月31日 総務財政常任委員会所管事務調査報告書提出

議長交際費(1月・2月・3月)

| 支出区分 | 内 訳 | 件数・個数 | 金額(円) |
|------|---------------------------|-------|---------|
| 祝金 | | 0 | 0 |
| 寸志 | | 0 | 0 |
| 会費 | 湯沢商工会議所新年祝賀会 ほか | 15 | 93,000 |
| 弔慰 | | 0 | 0 |
| 見舞 | | 0 | 0 |
| 賛助 | 第53回川連漆器総合展示会議長賞(日本酒)代 ほか | 3 | 18,440 |
| 接遇 | | 0 | 0 |
| 印刷 | | 0 | 0 |
| 合計 | | 18 | 111,440 |

※各項目の詳細については、市ホームページをご覧ください。

6月定例会の日程(予定)

| | |
|-------|-----------------------|
| 6月1日 | 本会議 開会(議案上程、提案理由説明) |
| 6月5日 | 本会議 (議案質疑・付託、請願・陳情付託) |
| 6月8日 | 本会議 一般質問 |
| 6月9日 | 本会議 一般質問 |
| 6月12日 | (一般質問 予備日) |
| 6月15日 | 予算決算常任委員会(分科会)、常任委員会 |
| 6月16日 | (常任委員会 予備日) |
| 6月20日 | 予算決算常任委員会(全体会) |
| 6月23日 | 本会議 (採決) 閉会 |

※日程については変更になる場合がありますので、ご了承ください。

■請願・陳情の提出締切は5月25日(木)午後5時

■議会傍聴

- 本会議や委員会は当日の受付で、どなたでも傍聴することができます。開催当日、市役所本庁舎4階の議会事務局窓口までお越しください。

■議会中継

- 本会議の様様を湯沢市議会ユーチューブチャンネルでインターネット配信(ライブ・録画)をしていますので、ご覧ください。



ユーチューブチャンネル



委員 委員 委員 委員 副委員長 委員長
 高橋 小田嶋 寺田 佐藤 佐藤 藤田
 達 一 二 勝 子 志

広報広聴委員会

山菜取りでコゴミやワラビなどを見るときも感心します。頭上に何があるか分からないのに芽を出し、倒木や岩石などがあっても構わず大きく成長している姿が、どんな厳しい状況でも乗り越え生きていくことが大事だと教えられているように感じるので。

私たちは約3年間、新型コロナウイルス感染症に苦しめられてきましたが、3月にはマスク着用ルールが緩和され、5月に予定されている感染法上の位置付けの変更に合わせて、さまざまな制限が緩和されます。

まだまだ注意は必要ですが、厳しい状況を乗り越えた私たちにも、明るい春が訪れたようです。

(小田嶋秋一記)

編集後記